

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	2	愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする	
施策名	(ウ)	高齢者等が活躍できる場の創出及び社会参加や生きがいづくりの促進	
	②	健康長寿対策の促進	
	1	誰もが健康長寿に暮らせる社会づくりの推進	
事業名	①	介護予防普及啓発事業	
担当課名	福祉長寿課	所属長名	萬屋三男
関係課名			

1. 事業の目的						
○介護予防に資する基本的な知識の普及啓発や住民意識の向上のために講演会の開催、パンフレットの作成・配布、また介護予防教室等を開催し、介護予防を推進し地域住民が自立した日常生活を送ることができる地域づくりを目的とする。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○広報誌「めじろ88」の定期発行 ○介護予防に資する講演会の開催 ○各種介護予防教室の開催 ○地区集いへの講師派遣				○広報誌「めじろ88」年4回発行 ○介護予防「スクエアステップ教室」16回 ○複合型教室「みるみる元気塾」17回 ○シニアヨガ教室 4回 ○講師派遣等 91回 ○認知症に関する講演会 1回		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	4,312千円	1,078千円	539千円		1,746千円	949千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○介護予防教室への参加をきっかけに自主活動への参加 ○広報誌による、介護予防に関する情報発信及び自主活動の紹介 ○地区集いへの講師派遣による住民意識の向上 ○講演会を通してめざす地域像の普及啓発				○講演会等への参加者の低迷化 ○各種教室メニューの不足 ○介護予防教室への男性参加の少なさ		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○男性参加率の向上が見込める介護予防プログラムの情報収集およびメニューの開発 ○プラチナ世代をターゲットにした介護予防の啓発活動						

担当課評価	B	○今後も、地域包括ケアシステムの醸成にむけた住民意識の向上や介護予防の普及啓発活動を進めていく。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	2	愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする	
施策名	(ウ)	高齢者等が活躍できる場の創出及び社会参加や生きがいつくりの促進	
	②	健康長寿対策の促進	
	1	誰もが健康長寿に暮らせる社会づくりの推進	
事業名	②	高齢者見守りネットワーク事業	
担当課名	福祉長寿課	所属長名	萬屋三男
関係課名			

1. 事業の目的						
○在宅の一人暮らしの高齢者等が地域から孤立することを防止するとともに、その異変を早期に発見して必要な援助を行い、保健・医療・福祉等のさまざまな課題に対する相談支援体制を充実させる。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○見守り協力員は、日常生活の中で声かけや見守り（訪問・姿・灯りの確認等）を行い、協力事業所は、日頃の業務・活動中におけるさりげない見守りを行っている。また見守り協力員からは、1カ月に一度登録者の見守り活動状況報告書の提出がなされている。				○高齢者見守りネットワーク協力員謝礼 155千円 ○平成28年度末 ・高齢者見守りネットワーク協力員：8地区34名 ・対象者数：85名 ・登録協力事業所数：98事業所		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	155千円					155千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○この事業によって、在宅の一人暮らしの高齢者等が地域から孤立することを防止するとともに、その異変を早期に発見して必要な援助を行った。				○事業説明を求められる機会はあるものの、見守り協力員を探せないことなどから思うような事業拡大に至っていない。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○一人暮らしの高齢者が、住み慣れた地区で安心して暮らすためにも、今後もサポート体制の周知とともに事業拡大が必要である。						

担当課評価	B	○今後も、高齢化が進展するとともに、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯は増加すると予想される。これまでの見守り体制の見直しとともに、適切な支援ができる地域の体制を整えることも必要である。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	2	愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする	
施策名	(ウ)	高齢者等が活躍できる場の創出及び社会参加や生きがいの促進	
	②	健康長寿対策の促進	
	1	誰もが健康長寿に暮らせる社会づくりの推進	
事業名	③	買い物支援事業	
担当課名	福祉長寿課	所属長名	萬屋三男
関係課名			

1. 事業の目的						
○高齢者等の日常生活の支援策として、食品・日用品の買い物などで手助けを必要としている高齢者等を対象に、登録事業所による商品の配達を行うことによって、高齢者への利便性の向上を図り、また訪問の際に声をかけるなどの見守りを行うことで、安否確認にも寄与する。						
2. 事業の概要			3. 実施内容（取組状況）			
○電話また訪問によって、登録者から配達事業者が食料品、日用品を受注し、その商品を自宅まで届け、商品受領のサインの記入・印鑑押印を行う。併せて商品の受領時に安否確認を行う。			○買い物支援事業を行う指定事業者に対し、配達回数×200円の補助 ○平成28年度末 ・登録者数 217名 ・実利用者数 135名 ・延利用回数 3,091回 ・指定事業者数 2社			
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	618千円					618千円
4. 事業における成果			5. 事業における課題			
○高齢者の買い物などの手助け及び安否確認に繋がっている。			○目標は達成できているものの、今後も対象となる高齢者の利用拡大に向けて取り組む必要がある。 ○町広報誌などでPRを行ったが、まだまだ十分とはいえない。			
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○更なるPR活動 ○登録業者（2社）以外にも独自で配達を行っている企業があるので、状況を確認する必要がある。						

担当課評価	B	○目標は達成できているものの、今後も対象となる高齢者の利用拡大に向けて取り組む必要がある。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	2	愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする	
施策名	(ウ)	高齢者等が活躍できる場の創出及び社会参加や生きがいづくりの促進	
	②	健康長寿対策の促進	
	1	誰もが健康長寿に暮らせる社会づくりの推進	
事業名	④	特定健康診査等事業	
担当課名	健康保険課	所属長名	荒木 宣 貴
関係課名			

1. 事業の目的						
○メタボリックシンドローム（内臓脂肪型肥満）に着目した特定健康診査を実施し、生活習慣病を予防するため、保健指導を必要とする者を抽出する。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○特定健康診査（質問項目、身体測定、血圧測定、血液化学検査、肝機能検査、血糖検査、尿検査）の実施。				○特定健康診査等事業 11,657千円 ○町内6医療機関（個別）及び健康事業団（集団）による健診実施。 ○平日と夜間（18:00～20:00の4日間）及び土曜日（9:00～12:00）の実施。（H28年6月と10月に一回ずつ） ○みなし健診、事業所への受診結果データ提供依頼を実施。		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	11,657千円					11,657千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○平成27年度受診率41.1%から成28年度受診率41.7%に微増することができた。				○国の目標値である60%には、程遠い状況である。 ○医療機関ごとの1日あたりの受入れ人数に制限があり、特に年度後半などは時期的及び特定の医療機関で受診できない場合がある。		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○事業者への受診結果提供依頼やみなし健診を活用することにより、真の健診未受診者を把握し、受診勧奨の方法の見直しや強化を図る。						

担当課評価	C	○早めの受診勧奨や集団健診の利用、また、国の指針に合わせた健診体制の見直しなど、住民・医療機関の理解を得ながら受診率向上に向け取り組んでいく。
委員評価	C	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。

新上五島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 事務事業評価シート

実施年度	平成28年度		
基本目標	2	愛着と誇りをもって住み続けられる暮らし・人づくりをする	
施策名	(ウ)	高齢者等が活躍できる場の創出及び社会参加や生きがいづくりの促進	
	②	健康長寿対策の促進	
	1	誰もが健康長寿に暮らせる社会づくりの推進	
事業名	⑤	健康マイレージ事業【新規】	
担当課名	健康保険課	所属長名	荒木 宣 貴
関係課名			

1. 事業の目的						
○町民の健康に関する意識の向上及び主体的な健康づくりを推進し、健康寿命の延伸と健康の保持増進を図り、健康に関心がない方や若者に対し健康を意識する「きっかけ」づくりとし、特定健診・がん検診の受診率向上、ひいては医療費の削減に繋がることを目的とする。						
2. 事業の概要				3. 実施内容（取組状況）		
○特定健診やがん検診及び町が行う健康に関する教室や事業に参加することにより、一定ポイントを付与し、必要ポイントが貯まった方に対し、商品券等の景品との交換を行う。				○平成28年10月からスタートしたため、ポイント獲得期間は平成30年2月末までとなっている。		
	実績額	国費	県費	起債	その他	一般財源
事業費	0千円					0千円
4. 事業における成果				5. 事業における課題		
○受診率向上等の成果は、現時点で判断できない。				○PR不足 ○魅力ある景品の提供 ○他の課（こども課や福祉長寿課）との連携 ○20～30歳代がポイントを獲得し、健康づくりのきっかけとなる事業の実施		
6. 課題解決に向けての今後の取り組みについて						
○周知方法の見直し及び獲得ポイントや対象事業の拡大を検討する。						

担当課評価	B	○今年度末までに獲得したポイントによる景品交換が可能のため、受診率向上等の成果は把握できないが、特定健診受診者及び健康教室等の参加者へのポイントを付与するハガキを配付して周知に努めている。
委員評価	B	○2次評価のとおり

評価基準	A	KPI達成に非常に有効であり、このまま継続して事業を推進する。
	B	KPI達成に有効であり、継続して事業を推進する。
	C	KPI達成のために、要因の分析を要する。
	D	KPI達成のために、要因の分析と事業の見直しを要する。
	E	事業自体の抜本的見直しを要する。